

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



「創大」～Step to the future～！～生徒会始動！～

「創大」には大きなものを創るという
意味があり、大きなものを創り残すこと
が「未来に向かって進化していく一中」
につながる。そのためにも「凡事徹底」
と柱の「一中人権宣言」の意識を高め、
「日本一熱く絆強き学校」を実現したい
と後藤紗季生徒会長からの力強い言葉。



石井綾汰・五十川志歩議長の一生懸命の議事進行で議論が深められたね。
熱い思いが練りこまれた議案書に、みんなで命を吹き込むことができただ
ろうか。さあ、衛生行動の徹底やルーティーンを習慣化することができる
か、「何のために(誰のために)なぜやるのか」にとことんこだわった自治力
を發揮できるか、そして「日本一チャート」と「一中人権宣言」を視点に
常に「頑張り直し」ができるか、いよいよ挑戦がスタートだ。後期生徒会
から渡された課題「指摘し合うこと」を忘れずに、「創大」に向けて我らここに挑む！



また、生徒会始動にあたって二中学生会とも話し合いを重ね、将来の中学校統合をみす
えて、同じ方向に進んでいけるように努力していることも新たな取組だね。「未来に向かって
進化していく一中」づくり、いざ日本一へ！

失敗への指摘はアドバイスだと考える！～「試行錯誤」で成功へと進化～

間違いを指摘されてはじめて、自分の失敗に気づくこともある。しかし、素直に
指摘を受け入れられず、非難されたように感じたり、意固地になって失敗を認めら
れなかったりするかもしれない。そんなときに、「改善すべき点をアドバイスして
くれたんだ」と考えることができれば、失敗を成功へのチャンスに変えられるので
はないだろうか。「試行錯誤」…成功のために失敗から学ぶ！

目に見えない未知のウイルスは、人の心に強い「不安」や「恐れ」を抱かせます。一度心の中でウイル
スへの不安や恐れが芽生えると、簡単に消えることがなく、知らず知らずのうちにどんどん膨らんでい
き、次第に冷静な判断力が奪われていきます。そして、少しでも役に立ちそうに見える情報があれば、
真偽が不確かであっても信じてしまい、不安や恐れに行動まで支配されるようになってしま
うのでしょうか。

一人ひとりの心にある不安や恐れは、その人の行動を支配するだけでなく、不確かな情報にのせられて、
ウイルス自身と同じように人から人に伝染し、あっという間に広まっていきます。その結果、自覚のな
いままウイルスに関係のありそうな人を嫌悪したり、遠ざけようとする言動が至る所で行われ、社会の
中に差別や偏見の芽が生まれます。一人ひとりの言動は、取るに足らないささいなものであるかもしれ
ません。しかし、それが社会の様々な場面で繰り返されるうちに、差別や偏見の芽も大きく育ってしま
うのでしょうか。

私たちが本当に恐れなければならないのはウイルスそのものであり、感染者などの特定の「誰か」では
ありません。まずは、不安や恐れをコントロールすることに心を向けてみましょう。自分自身の状況を
客観的にとらえて、「今、自分にできることは何かを問いかける」とともに、「誰か」に対する言葉や行動
として本当にふさわしいものは何か、冷静に考えてみてください。今は様々な人が、それぞれの立場で
ウイルスに立ち向かっています。大切な命を守るためにも、不確かな情報に惑わされることなく、相手
のことを思いやる気持ちをもって行動していきましょう。
～滋賀県広報誌より～

常に「今、自分にできることは何かを問いかける」ことを忘れずに、あたたかい心と言葉で
自分の周りを埋め尽くし、冷静な判断力と相手を思いやる気持ちで行動！

